広報 かじき

第221号

昭和49年2月1日発行

発行　鹿児島県姶良郡加治木町役場

編集　総務課文書課

印刷　吉屋印刷所

馬踊り（初午祭）も間近、けいこが続く。（木田・中福良で）

春はすぐそこに

ぽこぽことはずみ春呼ぶ初鼓

牧　笛郎

■…立春のあと，2月いっぱいを「早春」といい暦の上ではもう春が立っています。樹木の肌にも，かすかに春の気配の動きが感じられるこのごろです。

■…ご家庭では，子どもの進級，進学から卒業，就職などで心配と喜びが重なっていつもとは違った気のつかれる月です。

■…月末から「春の火災予防運動」が始まります。まず自分の家からは絶対に火を出さないという心構えを持ちましょう。

☆無駄な買いだめみんなの迷惑

☆節電は戸ごと町ごと職場ごと

昭和49年

2月号

☆メモ　人口／19,872　男／9,377　女／10,495　世帯／6,337　（49年2月1日現在）

本町のさらに一段の発展を期したいもの（黒川山頂から見た市街地）

加治木町

〝優良町〟で全国表彰

充実した行政・すぐれた実績

東京・全国町村会で受彰式

一月末に東京の全国町村会で、本町は「優良町」として表彰されました。これは毎年、全国町村会で全国の都道府県から一町村ずつ行政的にうまく行っている町村を優良町村として表彰し、他もこれを見ならわせようとするものです。

今度、本町が選ばれた内容は、主としてつぎの点が取りあげられたようです。

①…毎年納税は完全に近く、健全財政だとする。

②…戦災復興につぎ都市計画事業をよくやり、道路や橋などよく整備されている。

③…上水道や都市ガスも布設され、公営住宅も多く、街路も港も整備された。

④…農道、小規模かん排水など町補助で行い、土地改良、農改事業、農免道路など、町は積極的にやって農政をすすめている。

⑤…商工会へ補助や融資で商工業育成に大きく努力し、実績をあげている。

⑥…教育文化については、先ず教委機構の整備は県で町村第一位で、各校舎の鉄筋化、屋体運動場プールなどよく整備し、学校・社会教育と体育ともにすぐれた実績をあげつつある。

⑦…幼稚園公立二、私立一、町立図書館、同郷土館を備えている

⑧…社会福祉については老人幼児対策など国、県に先んじて諸制度を設け、母子寮一、保育所町立三、私立一など完備し、三十近い文化団体や婦人会、地区公民館、青年団など民主団体が活動している。幼児教育施設も県内ではトップクラス。

⑨…広域行政に早くから踏み切り、し尿、ちり焼場、火葬場、伝染病棟、消防など共同で処理している。

⑩…議会その他の行政委員会活動が、よく行われている。町内を約百の自治会地区に分け、行政を自治的に進め、納税・国保および年金事務、社会福祉、衛生など実績をあげている。選挙管理委員会農業委員会その他委員会の業務事績がよい。

以上のような点について、県と県町村会では資料をもとに他と比較検討して、加治木が選ばれ全国表彰となったものです。これについて、曽木町長はつぎのように語りました。

「全く予期しなかった表彰をうけたわけで、本町の大きな名誉です。町民の皆さんのご協力の上に、町議会や各行政委員会の活動よろしきを得ていること、そして各部局の執行部の諸君が誠心誠意、仕事をしてくれているなどが、この成果をあげたものと思います。

戦後ゼロというよりマイナス地点からスタートした本町行政です。私自身まだ十分とは思いませんが、全国から見ればある程度の基準に達したとみとめられましたことは有難いことです。さらに一段の発展を期したいものです。

昭和48年度・上半期の財政事情

町も借金でやりくり

昨年末、昭和四十八年度の上半期の財政事情が公表されました。

町の財政（台所）が、どのようにしてまかなわれ、どのような事業が行なわれ、このためどのくらいの借金（町債）があるかなど、この機会にぜひ、ご覧ください。本紙では、主な部分を要約して掲載します。詳しい財政事情は町役場にございます。

上半期に五千五百万円を追加

昭和四十八年度の当初予算は十億六百五万一千円でしたが、四月から九月までの上半期に二回、予算の補正を行ないました。このため予算額は十億六千一百五十三万一千円となっています。

上半期の収入および支出の状況は次のとおりです。

○収入済み額

五億一千三百九十万一千円

○支出済み額

三億四千三百六十四万七千円

町独自でまかなえる財源三割

歳入予算のうち、町独自でまかなえる自主財源は三億二千八百七十九万九千円で、残りの七億三千二百七十三万二千円は、国や県などからの交付金などの依存財源でまかなわれています。

したがって加治木町の財政（台所）は、自主財源三一パーセント、依存財源六九パーセントで運用されていることになります。自主財源の内訳は図1のとおりです。

税負担ひとり三八、六七六円

次に町民の税負担の状況ですが本年度の予算規模のうち五分の一が町税によってまかなわれています。町税の額は二億三千六百六十九万九千円ですが、町民ひとりあたり、一世帯あたりに計算しますと税負担は次のようになります。

一世帯当り　三八、六七六円

ひとり当り　一二、二五九円

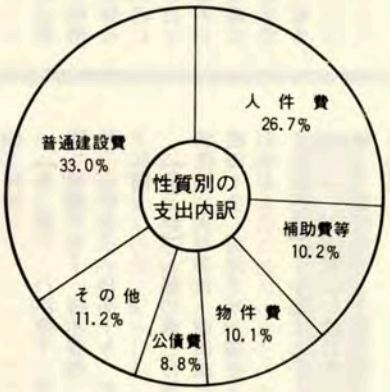
支出の内訳は図2のとおりです。

普通建設事業費の内訳

公営住宅建設事業　九千二百九十九万八千円　▽中学校統合用地造成費四千五百万円　▽町道新設改良事業三千九百二十万円　▽加治木港湾改修事業負担金二千五百万円　▽永原小プール建設事業一千三百六十八万円　▽排水溝施設整備事業九百万円　▽錦江橋歩道橋設置七百五十万円　▽消防施設整備事業三百万円　▽橋梁改良事業三百万円　▽都市計画事業二千三百六十三万九千円　▽総合グラウンド照明施設五百万円など。

図1　昭和48年度の収入予算内訳

図2　昭和48年度の支出予算内訳



町の借金七億六千万円

町が、いろいろな事業をするために国などから借りている町債は昭和四十七年末現在で六億二千一百八十九万三千円ですが、四十八年度の上半期に四百八十万円の借入れを行ない、また本年度中に一億九千四十万円を借入れる予定なので本年度末の現在高は七億六千三百九十六万円となる見込です。

これは町民一世帯当り十二万四千八百三十円、一人当り三万九千三百七円の借金となります。

なお、本年度借入れ予定の町債の内訳は次のとおりです。

公営住宅建設事業債五千六百七十万円　▽町道整備事業債四千一百万円　▽港湾改修事業債二千五百万円　▽老人居室整備事業債五百万円　▽学校施設整備事業債五千二百四十万円　▽排水整備事業債六百三十万円　▽消防施設整備事業債百万円など。

昭和47年度

決算の概要

昭和四十七年度の決算は、さる十一月に開かれた町議会で認定されました。本紙一月号に監査意見書など一部掲載しましたが、決算の概要についてお知らせします。

三千万円の黒字決算

昭和四十七年度の決算額は収入額十億九千九百八十九万四千円、支出額十億二千四百九十八万八千円で、その差額七千四百九十万六千円のうち、四千三百五十万七千円が繰越明許費として四十八年度に繰越され、三千一百三十九万九千円の黒字決算となっています。

収入内訳は、町独自の財源（自主財源）三億二千三百三万六千円で収入の二九・四パーセントとなり、あとの七〇・六パーセントは国や県などから入ってくる依存財源で七億七千六百八十五万八千円となっています。

なお決算における町税負担額は一世帯当り三万一千八百九十七円一人当り一万百十円となります。

支出の36%は普通建設事業費

支出の内訳では普通建設事業費が支出全体の三五・七パーセントを占めています。次が人件費の二四・〇パーセント補助費等の九・九パーセントとなっています。普通建設事業の主なものは次のとおりです。

公営住宅建設事業三千九百二十六万円　▽町道改良事業五千七百二十八万一千円　▽町道舗装事業一千五百三十七万円　▽加治木港湾改修負担金三千一百六十二万五千円　▽加治木幼稚園建設事業二千三百十七万五千円　▽中学校統合用地購入一億七千九百万円　▽総合グラウンド造成工事三千三百二十五万円など。

百五十四人が参加

抱負発表や記念植樹

成人式

代表者による記念植樹

町教育委員会の主催による町の成人式は一月十五日「成人の日」に、町福祉センターで開かれ、町内新成人者数二百九十七人のうち百五十四人（男五十七人、女九十七人）が参加しました。

寺崎教育長の式辞のあと、曽木町長は「新しく成人となられた皆さん、おめでとうございます。成人式は人生の一つのケジメだと思う。人生はノッペラボウではなくいくつかのケジメがある。このとき過去を一年でも十年でもよく反省し、ここから再出発をする努力をし、新たな覚悟をする—これが人生だと思う。これから自分の行く末を常に見守り、光明を求めながら進んでいってもらいたい。君たちの若いエネルギーを十分に発揮して若い力で若い日本、立派な郷土と立派な社会をつくってもらうよう祈りたいと思う—」と祝辞を贈りました。

つづいて園田・町教育委員長から成人者代表の江夏直代さんに、記念樹「さざんか」贈呈のあと、新成人の二見晴彦君（新町・鹿大水産学部一年）と郡山千代子さん（空港ビル勤務）の二人が新成人抱負発表を行ないました。（発表内容・別掲）

式終了後、センター前で男女成人代表、町長、議長によってクロガネモチ一本が植えられ、成人式の日程を終わりました。

この記念樹のクロガネモチは式に参加した成人者たちが一人二百円ずつ出し合って求めたものです。

私の抱負

（新　町）
二見晴彦

成人式を迎えるに当り、私は今日という日を人生の一つの契機としたいと思っております。

今までの自分の姿を静かに振り返って見ますと、いろんな面で甘く且つ軽率であったように思えます。そのような自分を、原点に引戻し、これからの人生航路にどのように対処していくか、私の抱負を、いささか述べさせていただきます。

まず「シシがネズミを捕えるにも全力を投球する」という諺がありますように、何事に対しても自分に与えられた全智全能をもって自分なりに精一杯の努力を傾注して事に処すべきだと思います。

それに我々には若さという特権があります。社会もこの若さを必要とすると思います。故に社会の必要に応えるため、我々はすべてのものに青春をぶっつけるべきだと思います。したがって自分のする事には責任をもち、もし失敗がそれに伴うとすれば、その非を素直に認め、その非を無意味にすることなく自分の人間形成に役立てるべきだと考えます。

次に、私は「出合い」という事を大切にしたいと思います。「出合い」は一つのハプニングです。しかしこのハプニングを、おろそかにすべきではないと考えます。この出合いによって広くあらゆる人とつき合い、語らうことができるのです。この時、自分の主張をつらぬきながらも、一方で相手の立ち場になって接するという事は非常に難かしい困難な事だとは思いますが「誠意」をもって接すると、おのずと相互信頼が生まれます。その信頼の中から自分にないものを学びとり、相手のよさ、そしてすばらしさを身につける事ができると信じます。

人間的には、まだまだ未熟な私ですが　目的に向って邁進する事によって充実した日々を送れれば……と考えております。

最後に、この式のために御尽力してくださいました町御当局ならびに関係者の皆様に深く御礼申し上げると同時に今まで私を見守ってくれた父を始め、亡き母そして知人、友人の皆様に感謝すると共にこれからも末永く御指導くださるようお願いいたし、私の決意といたします。

審査員の検察審査員候補者に35人

町選挙管理委員会では、検察審査員の候補者名簿に登載されたかたの氏名を一月七日告示しました

検察審査員の候補者は、衆議院議員の選挙権をもっている人の中から、市町村の選挙管理委員会が行う「くじ」によって選ばれます

検察審査員は、この候補者の中から、さらに約一割の人が毎年四回行われる「くじ」によって検察審査員に選ばれることになります

検察審査会の制度は検察官の仕事のやり方を審査し、一般国民の良識を反映させて、明るく正しくする目的でできたものです。

検察審査員に選ばれた人は、自分の良心にしたがって正しい—と思った判断をすればよいのです

■検察審査員の候補者名

【第一群】池端ミチ子　浦川盛哉　鶴初実　川野義夫　岩元房子　桃木野城子　中野昇　音之宮辰二　根上輝治

【第二群】白浜律子　岩切正勝　穂満サチ子　樗木春男　小坂登　永吉幸子　日高トキ　米沢清　下払健一

【第三群】堀切薫　吉田紀子　田代勉　大村英吉　前田誠一郎　西田ミキ　川池チサ　田中ミサ　羽生よし子

【第四群】中島よし子　湯川ヨシ子　吉園潤子　猪目明　立元健二　若松美行　上妻千律子　吉松節男

（須崎）
郡山　千代子

今日ここに成人式を迎え、新たな感激とともに月日のたつのの早さに驚かされます。

学生のころ、きれいに着飾った成人の方々をみて何か遠い先のように思ったことが、きのうのことのように感じられ、それから数年たった今、こうしてこの会に出席することができましたのも、私をとりまく周囲の方々のあたたかい御指導のおかげと、心から感謝しております。

社会に出て今年で三年目。後輩が次々に入ってきて、上の方々がひとり、ふたりとやめていかれるのをみているうちに、いつのまにか古参の部類にはいっていくようです。恵まれた職場ですが、いろいろと考えさせられることもあり、つくづく思うのは人間性の問題です。お客様と接しているといろいろなことを考えさせられます。たとえば横へいな態度で「ありがとう」も言わないで行く人、そうかと思うと何ども何どもおじぎをして行かれる方もいます。それはやはり人間性の問題でしょうか。

こうしてみると、だれかに不愉快な思いをさせているのではないかと自分自身ふりかえってみます人は感情の動物です。感情と感情とが、ぶっつかり合っている社会で生活していくためには、人間性ということが一番大切な問題となります。

これから社会の仲間入りをするに当たり、心して行かねばなりません。

成人になると選挙権が与えられるのをはじめ、責任ある行動をとることが望まれます。インフレ、物価高、その他ゆれ動く社会情勢の中で、私自身の視野を広め、社会の一員として正しい目で、みつめていきたいと思います。

二十歳は人生において一つの区切りです。今日の「成人の日」を機会に、希望をあらたに一歩一歩前進していこうと思います。

選挙のちしき

□寄附の禁止

公職の候補者、または公職の候補となろうとする者は選挙に際し選挙に関する事項を動機として、その選挙区内にある者に寄附をしてはなりません。

□特定人に対する寄附の勧誘・要求等の禁止

何人も選挙に際し、選挙に関する事項を動機として特定人（公職の候補者または公職の候補者になろうとする者）に対し寄附を勧誘し、または要求してはなりません

□買収罪

買収罪は、選挙犯罪のうちでも最も代表的な、かつ最も悪質なものです。買収行為は、本来選挙人の自由な意志の表明により行なわれるべき選挙を、不法不正な利益の授受によって歪曲しようとするものであるからです。

【買収とは】

当選者を得、もしくは得しめない目的で選挙人または選挙運動員に対し、金銭や物品、その他財産上の利益もしくは公私の職務の供与の申込み、もしくは約束をしたときは「買収」です。

これは必ずしも選挙運動期間に限らず、それ以前になされた時も同じです。

□選挙期日後のあいさつ行為の制限

選挙の期日後に、当選または落選に関し、選挙人に対し、あいさつ行為は制限されています。選挙期日後のあいさつ行為は、社会通念上、考えられるものですが、選挙に関連して行なわれるものである限り、選挙の期日後であっても、そのため多くの費用を要したり、事後買収（謝礼等）などの弊害も少なくないからです。

【禁止される行為は】

①選挙人に戸別訪問すること。

②自筆の信書および当選の祝辞または落選の見舞い等の答礼のためにする信書を除くほか、文書、図画（ポスター等）を頒布または掲示すること。

③当選祝賀会その他の集会を開催すること。

□選挙の自由妨害

選挙の自由とは、選挙人が自己の良心にしたがって、その適当と認める候補者に対して投票をする自由と、候補者およびその選挙運動者が、その当選を図るために法令の規定の範囲において選挙運動を自由に行なうことをいい、いずれも選挙が公正に行なわれるための基本条件ともいうべきものです。

この投票の自由と選挙運動の自由を不正の方法によって妨害することは、それが何人によって行なわれるを問わず、すべて犯罪行為として処罰されます。

【妨害罪】

これは運動のための交通もしくは集会の便を妨げ、演説を妨げ、文書、図画（ポスター、看板）を破ったりする者のほか、選挙人、公職の候補者、公職の候補者となろうとする者、選挙運動者、または当選人に対し、暴行もしくは不法な威力を加えたり、することをいうものです。

歳末募金のご報告

昨年末にご協力いただいた歳末たすけ合い募金は、総額二十九万九千三百四十二円となりました。

町社会福祉協議会では、次のように募金を年内に配分しました。

□配分先の内訳

生活困難世帯　一三〇、四〇〇円
ねたっきりの人　四五、〇〇〇円
肢体不自由児　一一、〇〇〇円
精薄児　三、〇〇〇円
不遇児　二、七〇〇円
老人ホーム　四九、五〇〇円
重症心身障害施設一八、四二七円
長期療養患者　三三、〇〇〇円
児童施設　一、〇〇〇円
送料、消耗品費　五、三一五円
合計　二十九万九千三百四十二円

配分後にご寄附いただいた募金七万四千三百九円は来年度へ繰越しとしました。

□募金の内訳

一般募金　二五六、三五〇円
一般寄附金　四六、六一六円
前年度繰越金　七〇、六八五円

□特志寄附者

後野ふじ（新富町）山口キミ（鞍掛）坂元重子（中福良）末永英次（宮田ケ平）柿元蝶子（田中）宮脇基利（小田倉）川上トラ子（諏訪町）堂森重義（隈原）町未亡人会、堀切シズエ（西諏訪）猪俣定雄（茶碗屋）寺川保夫（仮屋町）望岳園々長ほか32人、九電加治木営業所一同　錦江小児童会、柁城小児童会　募金箱。

▽▽▽ 例年どおり消防出初め式 △△△

〝エンジン快調〟

冬空にいっせい放水

恒例の町消防団・出初め式は一月十一日、加治木高校グラウンドに百六十二人の団員と七十人の来賓が参加して開かれました。

ことしは石油不足で、県内各地で消防出初め式を中止した市町もあるなかで、本町は出初め式こそ団員の士気を鼓舞し、融和・結束を固め、同時に町民への防火意識の高揚にも役立つとして、例年どおり行ったものです。

午前九時、式に先だって全団員が国分自衛隊音楽隊のマーチにのって市中行進を行い、町消防団の健在と信頼できる消防団をPR、あわせて防火思想の喚起を町民に呼びかけました。

午前十時から式典が始まり、町長、来賓による観閲、機具の通常点検のあと、小型ポンプ六台と自動車二台による消防ポンプ操法がひろうされました。

出初めのはな（華）サイレンによるいっせい放水も行われ、団員たちが持つ筒先から十数条の水柱が冬空に向かって高く立ち登り、ポンプのエンジン音も快調に、出初めによるポンプ初始動となりました。

分列行進のあと、団員を前にして曽木町長は「昨年は団員諸君のたゆまぬ努力によって事故もなく火災も発生したがボヤ程度に終るよう諸君の活動によってくいとめることができた。これらの活動は町民の信頼度をいやが上にも高めた。本町も近年、住居や事業所などの数が日増しにふえている。このようなとき、防火思想の普及と万一にそなえての諸君の使命は重大なものがある。お互いの力を合わせ、郷土の発展を守り、郷土住民の精神、肉体、財産を守るため精進されることを望みます。

町としても消防機材の整備、充実、道路や水利も各機関とともに検討をすすめたい。諸君も元気で町消防団員として、がんばって欲しい―」と式辞を述べました。

冬空に高く立ち登る水柱

このあと団員や一般の消防関係功労者など六十八人の表彰が行われました。当日の表彰者は次のかたがたです。

□県消防協会総裁表彰

【功績章】有川恭雄　福丸早苗　松尾利光　大迫秀清　吉村虎男　吉村清視

【精績章】有馬清晴　沢崎菊男　大園譲　安楽忠　蔵満洋一　芋ケ迫正男　佐藤慶紀　是枝義輝　小宮路静哉　桐原広志

【勤続章20年】吉村虎男

□始良伊佐支部長表彰

蔵満実　川村吉弘　入部英行　瀬戸口美信　新福貢　内村利行

□町長表彰

今別府盛義　江口昇　有迫三男　松葉瀬義美　鶴幸男　外村秋男

□勤続表彰

【40年】大迫豊蔵　竹内親男

【25年】郡山利春　前田重夫　吉村清視

【20年】沢崎菊男　蔵満洋一　蔵満実

【15年】浦川盛哉　江口杉春　渡辺周一　新福貢　中間洋右　今中清一郎

【10年】内村清美　桃木野透　鶴幸男　吉田進　江口昇　西村徳　満留則男

□無火災表彰

西別府分団　辺川分団　中野分団

□団長表彰

橋口喬　川原輝夫　池上時仲　神田久志

□町長一般感謝状

福丸早苗　佐藤慶紀　是枝義輝　福薗克美　永吉武治　築瀬憲　外薗貢

□町長団体感謝状

小山田地区　丸高衣料・鹿児島工場

□町消防後援会連合会長感謝状

永吉武二（元消防連合会長）　築瀬憲（元同副会長）

一部変更になった 民生委員の担当区域

民生委員の担当区域が次のとおり、変更になりました。

◇蒲生田・江湖

田中実（本町三一四）②二二一二

◇垂ノ口

池端ヒデ（反土二六九五）③二四七八

◇仲町・西町

竹内親男（朝日町一四）②二六〇二

※…期間は昭和四十九年十一月末日までです。

俳句会

枸杞の実の紅のみ光る川堤　横山江南

花枇杷や新居日の色こまかなり　鶴田耕

笹鳴の庭に来てゐる二日かな　白尾建樹

元旦の倉番鳩をよせて居り　林玄洋

重ね来て歳は現か屠蘇を酌む　三浦大鵬

丘枯れてはるかにぬき潮あがり　井上透山

旅の果て夜霧の街の語りだす　松永愛子

蛇口より飲む寒の水旅なかば　蓑毛夏江

ふる里は遠き島かや芭蕉枯る　伊丹司

時雨る、や度を換えて見る老眼鏡　中山待香

鉢梅に今朝一輪のながかりし　恒吉斗南

いくたびか噴煙元旦の山笑わず　永田禾陽

乳幼児の医療費助成・条例制定

昨年の十月にさかのぼり支給

12月町議会

定例第四回町議会は、昨年の十二月十九日から二十六日までの八日間、町議事堂で開かれました。今回は、乳幼児の医療費を助成する条例の制定や町長など町三役の給料および町議員の報酬の改正、これに伴う補正予算総額三千八百十七万四千円など十議案を審議しました。その結果、一件を修正可決とし、九件をいずれも原案可決同意しました。

また、シェル石油貯蔵所および加治木プロイラーセンター関係など提出されていた陳情十五件のうち、十一件を閉会中の継続審査に二件を不採択としました（一件は取り下げ承認）

乳幼児の医療費を助成する条例制定

町内に住む四歳未満の乳幼児の医療費を町が助成支給する乳幼児医療費助成条例が制定されました

この条例制定によって町内、乳幼児の疾病の早期発見と早期治療が促がされ、乳幼児の健康保持・増進が図られることになります、なお、この条例は昨年の十月一日にさかのぼって適用されます。

助成金の額は　医療機関等で支払った額が二千円をこえた額について支給されるものです。

たとえば、ひと月の支払い額が二千六百円となった場合、町からは六百円（二千円を差し引いた残額分）が助成として支給されます。

なお、乳幼児を養育している人は、助成の受給資格者としての登録が必要です。これらの手続きについては、個人通知が出されていますが、この制度について詳しくおたずねになりたい方は、町福祉課へお問い合わせください。

町長や議員などの給与、報酬アップ

町長や助役、収入役、教育長の給与それに町議員の報酬の額を引き上げようとするもので、町特別職報酬等審議会の答申に基づき、昭和四十八年の四月から適用することとして、別表のように改正されました。

三千八百万円を追加　予算総額十一億円に

今回の一般会計の補正予算は三千八百十七万四千円が追加されました。このため昭和四十八年度の予算総額は十一億四千七十六万四千円となりました。予算追加のおもなものは次のとおりです。

議会費二百六十一万七千円（報酬改定による）▽一般管理費八百三十一万円（三役の給与改訂による）▽老人医療費一千四十九万二千円（老人医療扶助費ほか）▽予防費二百三十二万九千円（ワクチンほか）▽農地費六百六十三万三千円（須崎地区かんがい排水・遠瀬線道路改良工事請負費ほか）▽農業用施設災害復旧費百四十二万円（上野中ほか二カ所の工事請負費）

改正された特別職の給与・報酬額（月額）

役職	新（円）	旧（円）
町長	二六〇、〇〇〇	二二五、〇〇〇
助役	一九五、〇〇〇	一六三、〇〇〇
収入役	一八〇、〇〇〇	一五〇、〇〇〇
教育長	一八〇、〇〇〇	一五〇、〇〇〇
議長	八五、〇〇〇	七四、〇〇〇
副議長	六七、〇〇〇	五八、〇〇〇
常任委員長	五九、〇〇〇	五〇、〇〇〇
議員	五四、〇〇〇	四七、〇〇〇

前田氏を固定資産の評価審査委員に

任期満了に伴う町・固定資産評価審査会の委員に、前委員の前田為雄氏（七五）町内諏訪町＝を選任（再任）することに同意しました。

児童手当の範囲が四月からひろがる

〈請求手続は早めに〉

昭和四十七年に実施された児童手当は、十八歳未満の児童を三人以上養育し、その人の前年の収入が一定の額に満たない場合に、第三子以降の児童を対象に支給されているものです。

四十九年四月一日から児童の範囲がひろがって、三人以上の児童のうちに、義務教育終了前の児童がいれば支給されるようになります

手まめに消そう
不要な電気

このように児童の範囲がひろがりますので、現に児童手当の支給を受けている人でも、四月からその額がふえることになる場合もあります。

四月から新たに該当する人や現在の額よりふえる方は町長に、認定を受ける必要があります。認定手続は、おそくとも三月までにすませてください。

児童手当の支給は六月、十月、二月の三回に分けて支払われ、支給金額は毎月一人三千円です。

補聴器の相談日

毎月の第一火曜日をご利用ください

町では、補聴器の修理・調整ならびに聴力検査などの相談日を設けましたので、ご利用ください。

○日時　毎月・第一火曜日
○場所　町福祉センター会議室

印鑑と補聴器を忘れずにご持参ください。補聴器を持っていない方でも相談に応じますので、気軽においでください。

婦人会だより

日常生活のすべてに、町婦連が昨年八月から展開している**み・か・き運動**が、本当に必要な時期（時代）がとうとうやってきました。

今月は朝晩、なんの意識もなく使いすてている紙についてみなおし、かんがえなおしてみました。みんなで古紙の回収に心がけ、資源を大切にすることを一月の常任委員会で決定しました。

①一人の人間が使用する紙は一年間に百二十キログラム。

②一人一日に新聞紙二ページ大のもので十四枚が必要です。

一トンの古紙で立ち木二十本分の紙を再生することができる。

③新聞の折込み広告（南日本新聞）十一月の量は一軒に三キログラムにもなりました。

④東京都（三大新聞）の土曜日の折込み広告は二十九枚で三百二十キログラムになりました。

私ども婦人会員（消費者）は資源を大切にする立場から、毎日配達される新聞や広告、ダンボール品物が入っていた紙ケース、週刊紙、スーパーの袋、どんな紙でも結構。捨てたり焼却しないで回収に協力し、再生利用を真剣に考えよう。子ども達の物を大切にする心とつながっていくと思います。

町内の婦人会未加入のご婦人方もこの際、組織に入り集団力を発揮する時がきました。ご婦人一人一人の自覚をお願いします。

桜島の降灰による市販できないみかんを県が買上げ、私ども婦人会を通じて老人家庭に配布したところ非常に喜んでくださいました。

香典返しを寄附

＝町社会福祉協議会へ＝

香典お返しのかわりにご寄附をいただきました。厚くお礼申しあげます。

金額　ご遺族　故人

五千円　江口団地　本馬場道春（長男道一）

一万円　札　立　田中晴見（夫猪三郎）

四万円　本　町　西　清文（母計左松）

一万円　反土黒川　木場宗次郎（妻ワイ）

五千円　端山　井上三男・ほか一同（父仲太郎）

一万円　市来原　溝口文男（妻艶子）

三千円　須　崎　小坂　登（父宗太郎）

五千円　楠　原　山下　宏（母シズ子）

一万円　徳　永　徳永美彦（母チヨ）

五千円　西汐入下　児玉理毅（母チヘ）

五千円　田　中　久保薗ハツ子（夫四元忠志）

一万円　新　中　福元甚右エ門（妻セイ）

一万円　本　町　寺師ツヤ子（夫幸男）

▽育英奨学資金へ

三千円　反　土　和田敏子（父栄次郎）

五千円　本　町　寺師ツヤ子（夫幸男）

一万円　新　中　福元甚右エ門（妻セイ）

町内の在宅医

【二月】

2日　岩崎（昭）医院　②二三一五
10日　大川医院　②二〇三二
11日　平山医院　②二四六八
17日　神田橋医院　②二〇二四
24日　玉利病院　②二三二八

【三月】

3日　壱岐医院　②二二二二
10日　池田医院　②二二二〇
17日　岩崎（昭）医院　②二三一五
21日　大川医院　②二〇三二
24日　神田橋医院　②二〇二四
31日　平山医院　②二四六八

※…診療時間は午前九時から午後五時まで（原則として）です。

※…当日の往診ならびに緊急以外の受診はご遠慮ください。

随想　郵便受

曽木　隆輝

元旦、加治木郵便局長さん自身で、年賀状を配達してくださったのには痛み入った。毎年のことながら、当方で見込む何倍かの年賀状の整理には優に一月いっぱいかかる。

二、三十年も会っていない友人から寄せられた一片のハガキやアメリカ、ヨーロッパなど遠い所から送られたカードに、なつかしさや暖かさが込められているように思われる。

京都美術館から美術展への招待状がきた。何事かと思っていると私の知人の歴史研究家・久我五千男氏が古さつま焼に対するキリシタンの影響について資料や焼物の展示会をやっているのだった。カタログを見ると確かに当町にある有名な古帖佐焼の器にも、それと思われるものがあるようで古さつま研究上ひとつの指針と考えられる。

溝辺町・竹山出身の二見剛史氏（元柁城校教頭の源吾氏末子）は現在、東京の国立教育研究所で活躍中だが、厳父の親友で玉川学園大学の理事長、小原国芳氏が、先月二見邸を溝辺に訪問、途中加治木でまんじゅうを買いそこねる記事などのある全人教育誌を贈ってくれた。とてもいちいち目を通す暇はないが、何故かことしの正月は、宗教関係の雑誌や本がよけいまい込んできた。そろそろ惑わず立命すべき年輩とも思うのだが、世間からまだ修養が足らぬと思われているのだろう。

さる十二月「ふるさとの歌まつり」以来、加治木下駄についての問い合わせや注文が跡をたたない過日きた久留米の人からの手紙に加治木下駄を四十軒ぐらいで作っているときいて、加治木まで買いに出かけたが一軒もそんな店はなく鹿児島市も同様。NHKや町長は天下に堂々とウソ八百を並べてけしからぬ—とあった。

テレビでは作る人、栗野町の老夫婦が出ただけで加治木で大々的に作っていることは言わなかったが、すまなかったと詫び状を出しておいた。数日たって指定した加中の前の佐藤商店に発注したと手紙がきた。また私の用が増えた。